

『積算資料』に見る - 建設資材価格の半世紀

財団法人 経済調査会 経済調査研究所

1. 異形棒鋼・鉄くず価格、販売量推移

『積算資料』掲載の「異形棒鋼」(SD295A、電炉品、D19mm)と、原材料である鉄くず(ヘビー、H2)の価格推移を図-1にまとめた。これによると、異形棒鋼と鉄くずの価格変動にはきわめて密接な関連性があることが分かる。図-2は「異形棒鋼」の価格と、経済産業省「鉄鋼統計」による販売量(全国、年合計値)の推移をまとめたものである。これによると、68~81年度および87~93年度においては、販売量と価格の動きがほぼ一致しており、82~86年度および94~2002年度においては両者の動きが一致しない時期となっている。特に94年度以後、販売量はほぼ一定ながら価格落ち込みが著しく、販売量以外の要因をうかがわせる。図-3は「鉄くず」の価格と、「鉄鋼統計」による受入量の推移である。概ね79年度までは両者がほぼ密接に関係しているが、その後は受入量がほぼ一定であるにもかかわらず価格下落を続けており、異形棒鋼下落と同一の動きとなっている。

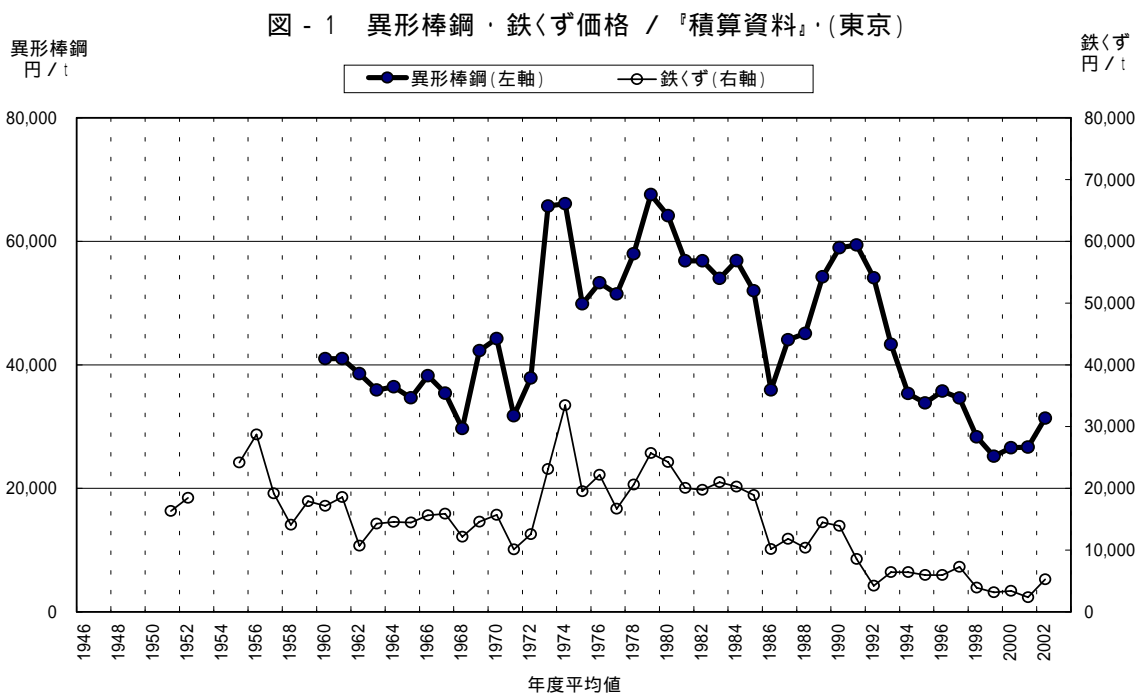


図 - 2 異形棒鋼販売量(経済産業省統計)と、価格(『積算資料』・東京)

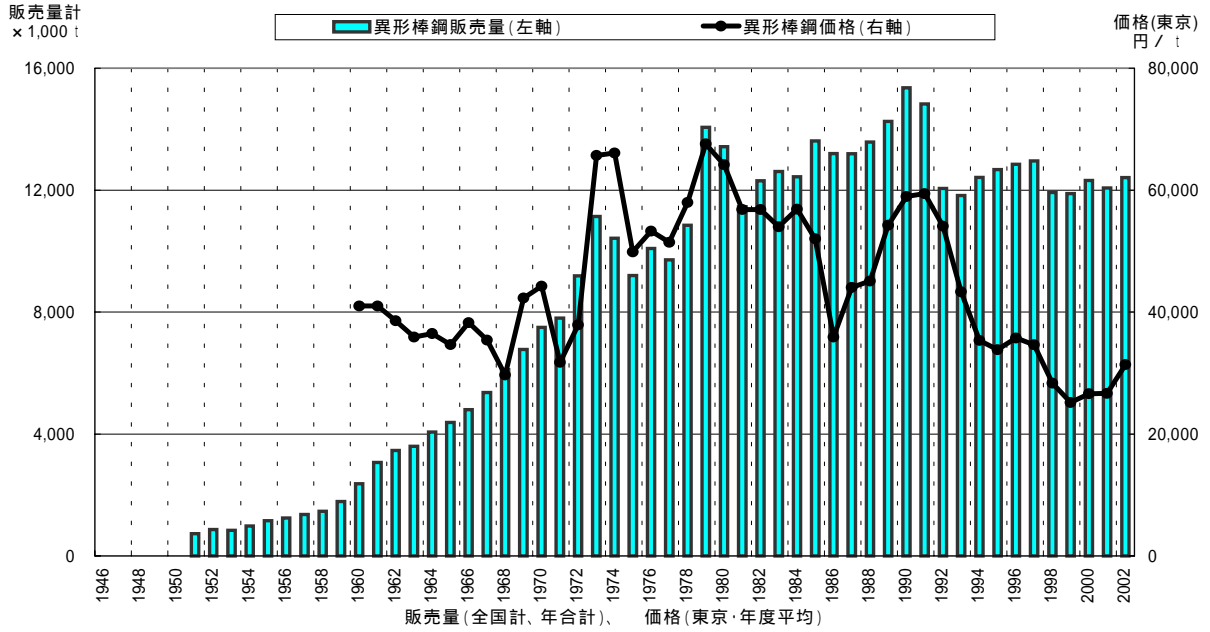
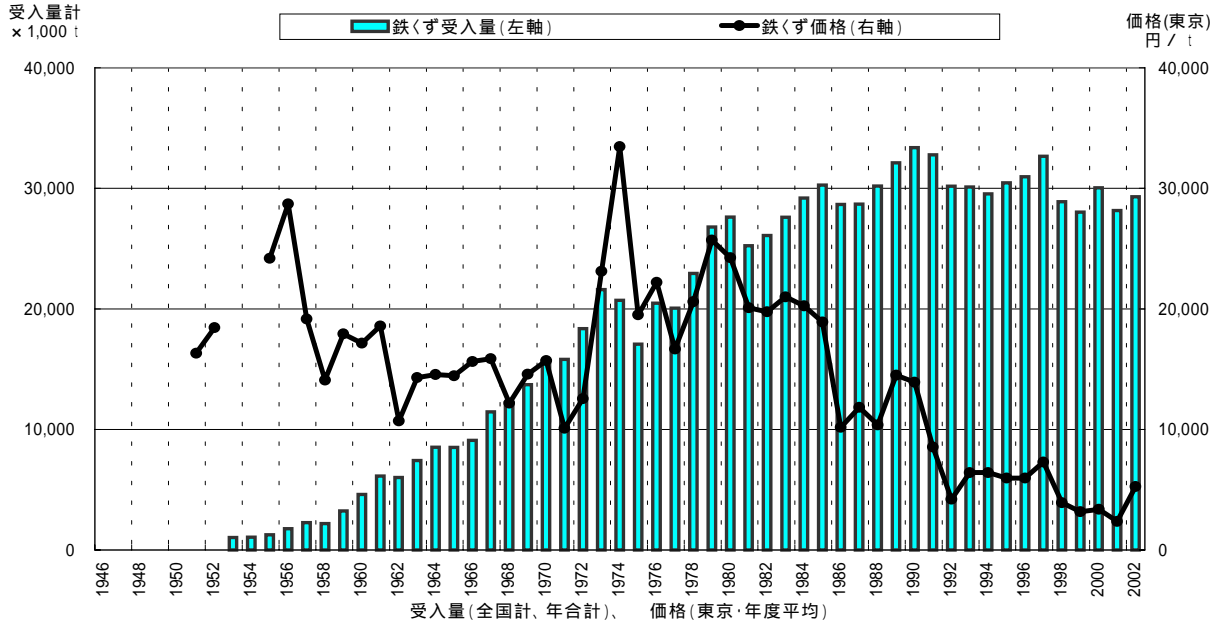


図 - 3 鉄くず受入量(経済産業省統計)と、価格(『積算資料』・東京)



2. H形鋼価格・仮設鋼材賃貸料金、販売量推移

『積算資料』掲載の「H形鋼」価格（構造用細幅、SS400、200×100×5.5×8mm）と、「仮設鋼材（H形鋼）」賃貸料金（H-300、720 日以内）の価格推移を図 - 4 にまとめた。これによると、H形鋼価格の変動後少し時期が遅れて賃貸料金の変動しているような傾向がうかがえるものの、直接的な影響は弱いと考えられる。図 - 5 は、「H形鋼」の価格と、経済産業省「鉄鋼統計」による販売量（全国、年合計値）の推移をまとめたものである。これによると、84～93年度は販売量と価格の動きが一致しているものの、その他の時期では両者の関係は認めがたいことから、H形鋼の価格は販売量以外の要素により影響を受けることが分かる。図 - 6 は、「仮設鋼材（H形鋼）」賃貸料金と、重仮設リース業者売上高の推移である。賃貸重量に関する統計がないために、国土交通省「建設関連業等動態調査（重仮設リース業）」による全国・年度合計の売上高を採用した。これによると、統計値の得られる92年度以後、売上高と賃貸料金はほぼ同一の動きを示していることから、売上高の下落傾向が賃貸料金引き下げにつながるなど、強い影響を与えていると考えられる。

図 - 4 H形鋼価格・仮設鋼材(H形鋼)賃貸料金 / 『積算資料』・(東京)

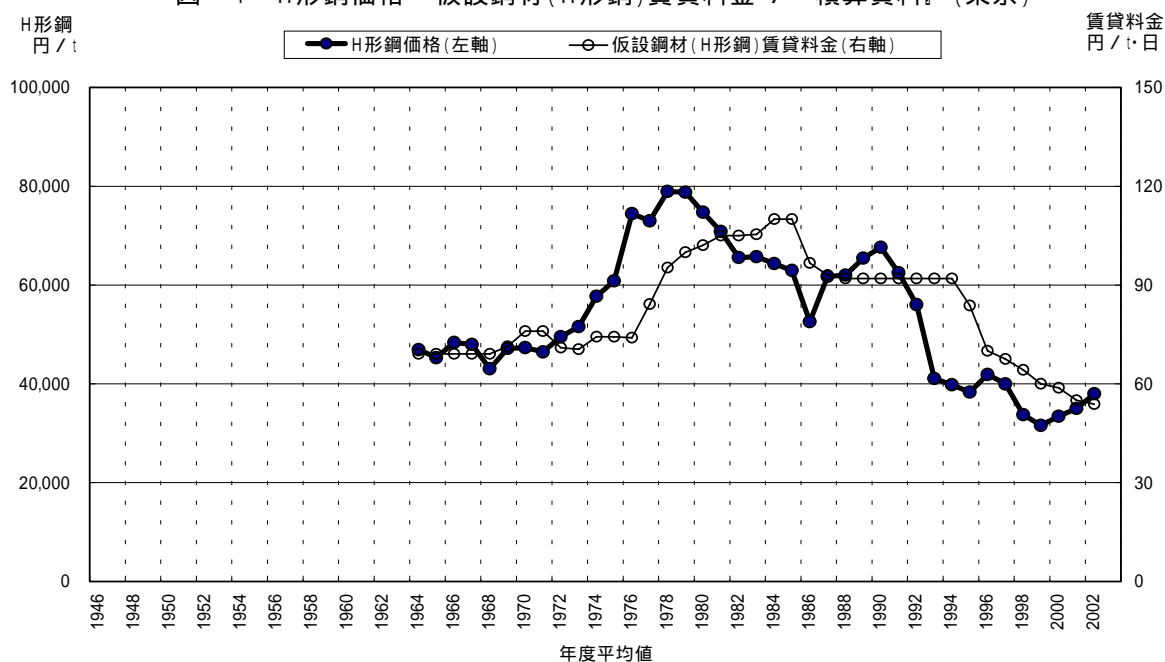


図 - 5 H形鋼販売量(経済産業省統計)と、価格(『積算資料』・東京)

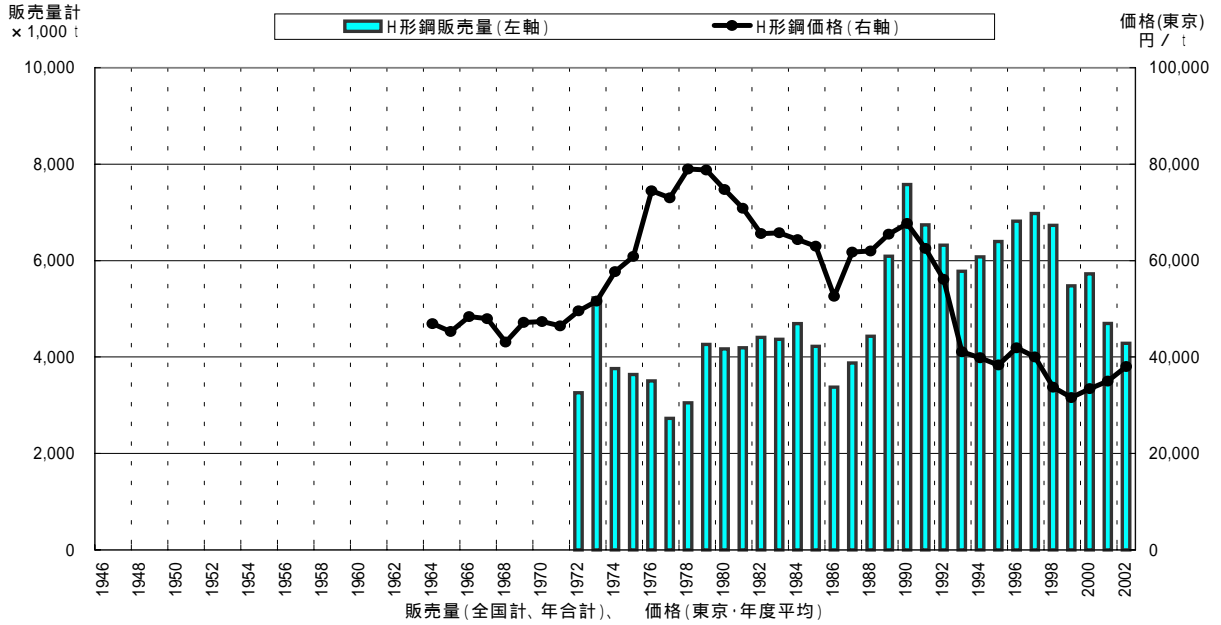
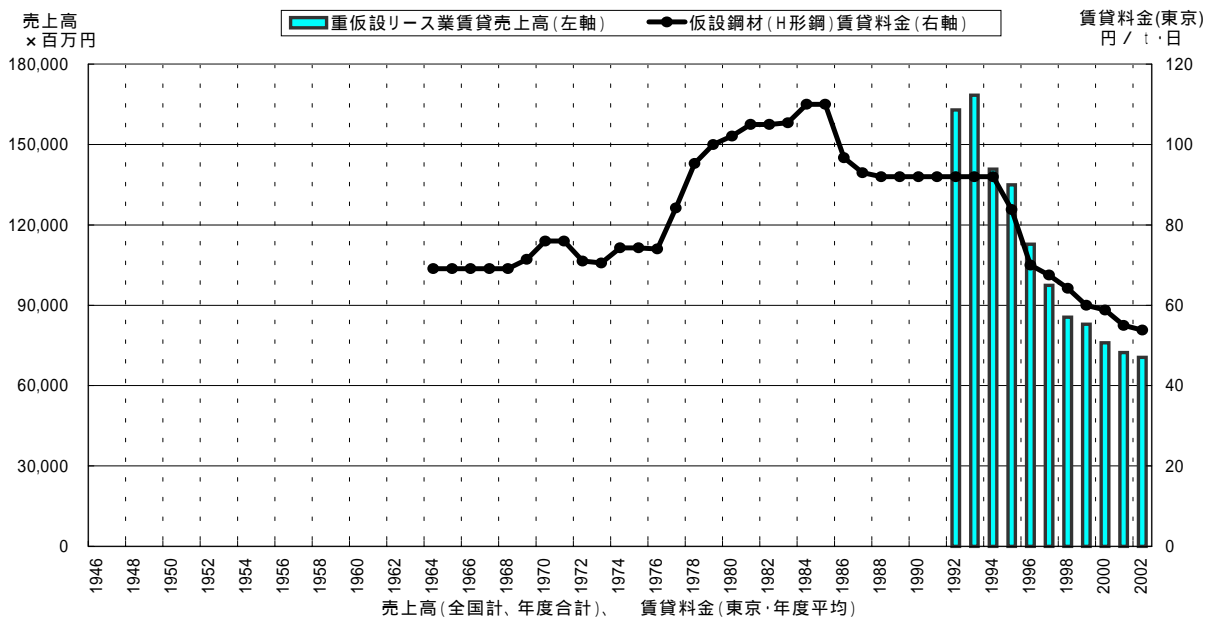


図 - 6 重仮設リース業賃貸売上高(国土交通省統計)と、賃貸料金(『積算資料』・東京)



3. 鋼板・ガードレール価格、出荷量推移

『積算資料』掲載の「普通鋼板」(厚板、無規格、厚16~25mm、3×6ft.)および「標準型ガードレール」(路側用、土中建込、Gr-C-4E、塗装)の価格推移を図-7にまとめた。これによると、普通鋼板とガードレール価格の動きには、近似した部分があると認められる。今回の集計は、ガードレール原料である熱延薄板価格との直接の比較ではないものの、鋼板の値動きがガードレール価格にある程度影響を及ぼしているものと考えられる。図-8は、高速道路分を除くガードレールの出荷量を、各メーカーによる概算の年度合計値としてまとめたものである。ガードレール出荷量(概算)と価格の動きを大まかに見ると、出荷量の減少が価格下落につながっていると考えられる。

図-7 鋼板(厚板)・標準型ガードレール価格 / 『積算資料』・(東京)

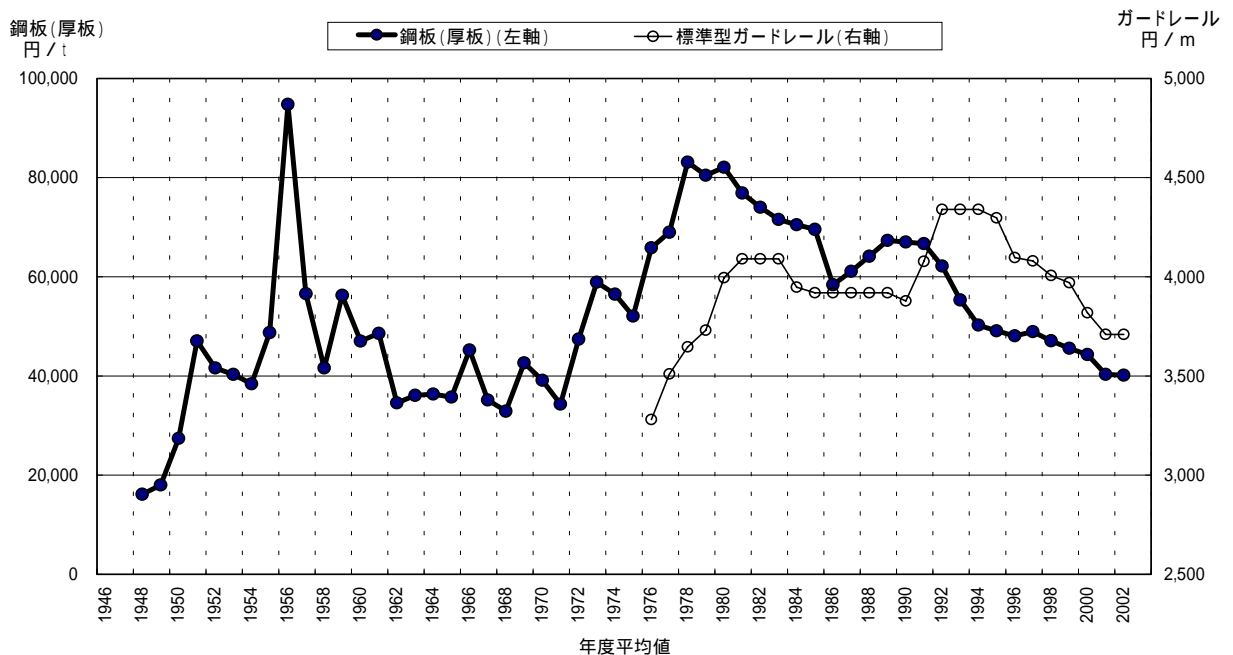
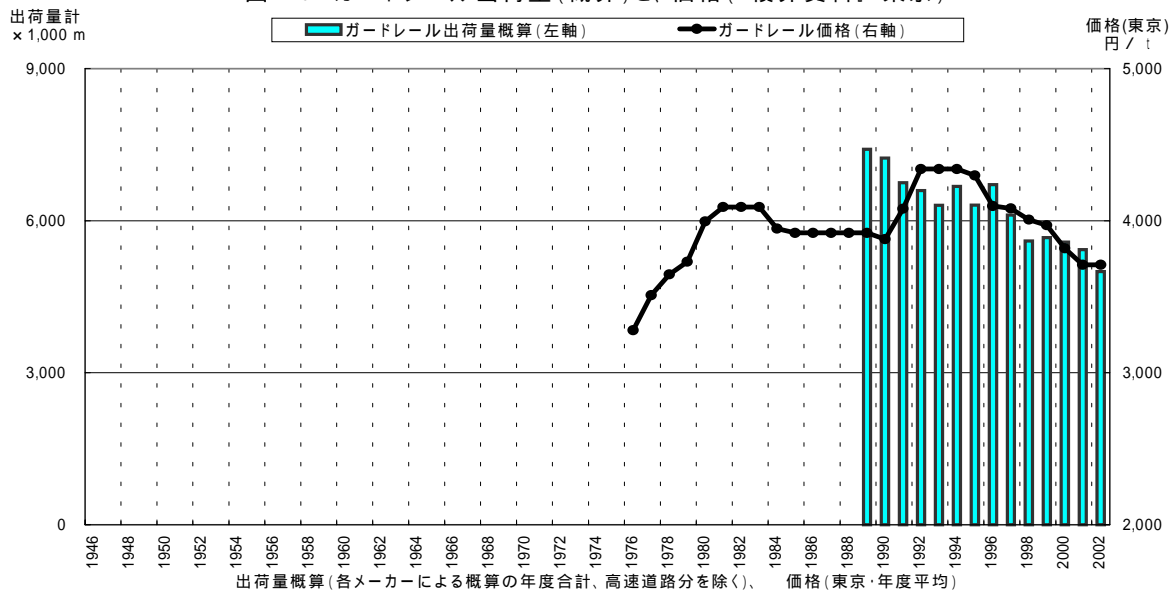


図-8 ガードレール出荷量(概算)と、価格(『積算資料』・東京)



本号掲載資材の『積算資料』価格推移表および鋼材その他の販売量等は、当会のホームページに掲載しているのので、参照されたい (<http://www.zai-keicho.or.jp/>)。

価格推移表の著作権に関するお願い

収録した価格等は、当会が独自に企画・立案し、調査・編集したもので、その著作権は当会が保有しています。ご利用に際し、次に掲げる事項については、事前に当会の了解が必要です。

- 1．本データの全部又は一部の複製、転載、引用、翻案(ただし、著作権法第32条でいう「正当な範囲内」の引用は可)。
- 2．本データの全部又は一部をインターネット、その他のコンピュータ・ネットワークに搭載して社内(部内)及び第三者に公開すること。
- 3．本データの全部又は一部を入力して第三者に販売、譲渡、貸与すること。

価格 (Price)

年度 (F.Y.) 平均 (Average)	出典	経済調査会『積算資料』 "Price Data for Construction Cost Estimating" of ERA					
	Source						
	品名	異形棒鋼	H形鋼	鋼板(厚板)	標準型ガードレール	仮設鋼材(H形鋼)	鉄くず
	Name	Deformed bar steel	H-shaped steel	Ordinary plate	Standard type guard rail	Rental fee of steel material for temporary construction (H-shaped steel)	Scrap iron
規格 (Specification)	SD295A D19mm (電炉品) (product of electric furnace) 標準長((standard length)	構造用(細幅)、SS400 200 x 100 x 5.5 x 8mm For structure (slim width) 標準長((standard length)	厚板、無規格 厚16~25mm, 3 x 6ft. Thick plate No standard, thickness 16-25mm	路側用(土中建込) Gr-C-4E(塗装) For road side (built into ground) Gr-C-4E (coat)	H-300, 720日(24か月)以内 H-300, within 720 days (24 months)	へびー (H2) Heavy (H2)	
単位	円/t (Yen/t)	円/t (Yen/t)	円/t (Yen/t)	円/m (Yen/m)	円/t (Yen/t)	円/t (Yen/t)	
都市	東京 (Tokyo)	東京 (Tokyo)	東京 (Tokyo)	東京 (Tokyo)	東京 (Tokyo)	東京 (Tokyo)	
昭和21年度 (1946)	-	-	-	-	-	-	
昭和22年度 (1947)	-	-	-	-	-	-	
昭和23年度 (1948)	-	-	16,133	-	-	-	
昭和24年度 (1949)	-	-	18,000	-	-	-	
昭和25年度 (1950)	-	-	27,400	-	-	-	
昭和26年度 (1951)	-	-	47,050	-	-	16,318	
昭和27年度 (1952)	-	-	41,583	-	-	18,444	
昭和28年度 (1953)	-	-	40,333	-	-	-	
昭和29年度 (1954)	-	-	38,417	-	-	-	
昭和30年度 (1955)	-	-	48,750	-	-	24,200	
昭和31年度 (1956)	-	-	94,792	-	-	28,700	
昭和32年度 (1957)	-	-	56,583	-	-	19,167	
昭和33年度 (1958)	-	-	41,583	-	-	14,092	
昭和34年度 (1959)	-	-	56,250	-	-	17,917	
昭和35年度 (1960)	41,000	-	47,000	-	-	17,154	
昭和36年度 (1961)	41,000	-	48,583	-	-	18,583	
昭和37年度 (1962)	38,583	-	34,542	-	-	10,708	
昭和38年度 (1963)	35,917	-	36,083	-	-	14,292	
昭和39年度 (1964)	36,458	46,917	36,333	-	69.1	14,542	
昭和40年度 (1965)	34,667	45,292	35,708	-	69.1	14,458	
昭和41年度 (1966)	38,250	48,375	45,250	-	69.1	15,625	
昭和42年度 (1967)	35,417	47,958	35,125	-	69.1	15,867	
昭和43年度 (1968)	29,667	43,083	32,917	-	69.1	12,175	
昭和44年度 (1969)	42,292	47,167	42,625	-	71.4	14,583	
昭和45年度 (1970)	44,250	47,333	39,125	-	76.0	15,708	
昭和46年度 (1971)	31,750	46,458	34,333	-	76.0	10,092	
昭和47年度 (1972)	37,875	49,542	47,417	-	71.0	12,550	
昭和48年度 (1973)	65,708	51,583	58,917	-	70.5	23,117	
昭和49年度 (1974)	66,083	57,708	56,500	-	74.3	33,458	
昭和50年度 (1975)	49,875	60,833	52,083	-	74.3	19,500	
昭和51年度 (1976)	53,292	74,458	65,833	3,280	74.0	22,208	
昭和52年度 (1977)	51,458	73,000	69,000	3,510	84.2	16,667	
昭和53年度 (1978)	57,958	78,958	83,125	3,647	95.3	20,583	
昭和54年度 (1979)	67,583	78,792	80,458	3,730	100.0	25,708	
昭和55年度 (1980)	64,167	74,750	82,083	3,995	102.1	24,250	
昭和56年度 (1981)	56,833	70,833	76,917	4,090	105.0	20,083	
昭和57年度 (1982)	56,833	65,583	74,000	4,090	105.0	19,750	
昭和58年度 (1983)	54,000	65,750	71,583	4,090	105.4	21,000	
昭和59年度 (1984)	56,875	64,333	70,500	3,948	110.0	20,250	
昭和60年度 (1985)	52,000	62,958	69,583	3,920	110.0	18,917	
昭和61年度 (1986)	35,917	52,583	58,417	3,920	96.7	10,167	
昭和62年度 (1987)	44,042	61,750	61,083	3,920	93.0	11,833	
昭和63年度 (1988)	45,083	62,000	64,167	3,920	92.0	10,375	
平成元年度 (1989)	54,250	65,458	67,333	3,920	92.0	14,500	
平成2年度 (1990)	58,958	67,667	67,000	3,878	92.0	13,917	
平成3年度 (1991)	59,417	62,500	66,667	4,078	92.0	8,542	
平成4年度 (1992)	54,083	56,083	62,167	4,340	92.0	4,208	
平成5年度 (1993)	43,333	41,083	55,333	4,340	92.0	6,417	
平成6年度 (1994)	35,333	39,833	50,250	4,340	92.0	6,417	
平成7年度 (1995)	33,833	38,333	49,083	4,297	83.8	5,958	
平成8年度 (1996)	35,750	41,917	48,083	4,097	70.0	5,958	
平成9年度 (1997)	34,625	40,000	48,917	4,080	67.5	7,292	
平成10年度 (1998)	28,333	33,750	47,083	4,007	64.2	3,917	
平成11年度 (1999)	25,167	31,583	45,583	3,970	60.0	3,167	
平成12年度 (2000)	26,583	33,417	44,333	3,818	58.8	3,375	
平成13年度 (2001)	26,667	35,000	40,333	3,710	55.0	2,375	
平成14年度 (2002)	31,375	38,000	40,167	3,710	53.8	5,250	
掲載開始	昭和36.3	昭和39.4	昭和23.7	昭和52.3	昭和40.2	昭和26.5	
価格実績 なし						昭和28.1 ~ 昭和30.2	
取引数量	50~100t程度	50~100t程度	20~30t程度	100~200m程度		2~5t程度	

販売量、出荷量 (Volume, Amount)

年度計 (F.Y.) or 年計 (C.Y.)	出典	経済産業省統計				国土交通省統計	メーカー概算
	Source	Statistics by "METI"				Statistics by "MLIT"	by Manufactures
	種別	異形棒鋼 販売量	H形鋼 販売量	鋼板(厚板) 販売量	鉄くず 受入量 (製鋼用、電気炉)	重仮設リース業 賃貸売上高	ガードレール 出荷量 (高速を除く概算)
	Name	Deformed Bar Steel	H-shaped Steel	Ordinary plate (Thick plate)	Steel scrap for dissolution Consumptoin by iron & steel sectors For steel making, Electric furnace	Leasing business of heavy temporary materials	Standard type guard rail
	Sales Volume	Sales Volume	Sales Volume	Acceptance Volume	Sales Amount	Shipping Volume (rough estimate)	
単位unit	1,000t	1,000t	1,000t	1,000t	百万円 (million YEN)	1,000m	
(C.Y.)or (F.Y.)	全国 (nationwide) 年計 (annual total)	全国 (nationwide) 年計 (annual total)	全国 (nationwide) 年計 (annual total)	全国 (nationwide) 年計 (annual total)	全国 (nationwide) 年度計 (F.Y. total)	全国 (nationwide) 年度計 (F.Y. total)	
昭和22年度 (1947)	-	-	-	-	-	-	
昭和23年度 (1948)	-	-	-	-	-	-	
昭和24年度 (1949)	-	-	-	-	-	-	
昭和25年度 (1950)	-	-	-	-	-	-	
昭和26年度 (1951)	724	-	-	-	-	-	
昭和27年度 (1952)	863	-	-	-	-	-	
昭和28年度 (1953)	836	-	1,014	1,042	-	-	
昭和29年度 (1954)	982	-	781	1,055	-	-	
昭和30年度 (1955)	1,155	-	1,310	1,252	-	-	
昭和31年度 (1956)	1,243	-	1,745	1,763	-	-	
昭和32年度 (1957)	1,361	-	2,140	2,266	-	-	
昭和33年度 (1958)	1,467	-	1,638	2,185	-	-	
昭和34年度 (1959)	1,783	-	2,095	3,230	-	-	
昭和35年度 (1960)	2,362	-	2,440	4,599	-	-	
昭和36年度 (1961)	3,069	-	3,266	6,130	-	-	
昭和37年度 (1962)	3,456	-	2,964	6,016	-	-	
昭和38年度 (1963)	3,591	-	3,092	7,427	-	-	
昭和39年度 (1964)	4,066	-	3,897	8,527	-	-	
昭和40年度 (1965)	4,373	-	4,501	8,507	-	-	
昭和41年度 (1966)	4,795	-	5,318	9,087	-	-	
昭和42年度 (1967)	5,365	-	7,426	11,457	-	-	
昭和43年度 (1968)	6,112	-	7,359	12,219	-	-	
昭和44年度 (1969)	6,772	-	9,327	13,716	-	-	
昭和45年度 (1970)	7,500	-	11,239	15,668	-	-	
昭和46年度 (1971)	7,800	-	10,923	15,805	-	-	
昭和47年度 (1972)	9,185	3,259	12,170	18,364	-	-	
昭和48年度 (1973)	11,134	5,224	14,524	21,598	-	-	
昭和49年度 (1974)	10,421	3,759	15,790	20,716	-	-	
昭和50年度 (1975)	9,200	3,636	14,401	17,072	-	-	
昭和51年度 (1976)	10,084	3,503	11,529	20,467	-	-	
昭和52年度 (1977)	9,710	2,726	10,165	20,048	-	-	
昭和53年度 (1978)	10,847	3,048	8,480	22,946	-	-	
昭和54年度 (1979)	14,062	4,260	8,847	26,785	-	-	
昭和55年度 (1980)	13,423	4,167	9,557	27,620	-	-	
昭和56年度 (1981)	11,455	4,188	9,122	25,240	-	-	
昭和57年度 (1982)	12,310	4,406	8,290	26,088	-	-	
昭和58年度 (1983)	12,610	4,368	7,176	27,600	-	-	
昭和59年度 (1984)	12,438	4,693	8,347	29,189	-	-	
昭和60年度 (1985)	13,617	4,222	8,494	30,267	-	-	
昭和61年度 (1986)	13,203	3,373	6,965	28,660	-	-	
昭和62年度 (1987)	13,194	3,877	6,830	28,687	-	-	
昭和63年度 (1988)	13,579	4,430	6,997	30,190	-	-	
平成元年度 (1989)	14,253	6,089	7,674	32,106	-	7,407	
平成2年度 (1990)	15,360	7,576	8,172	33,384	-	7,233	
平成3年度 (1991)	14,824	6,738	8,254	32,774	-	6,749	
平成4年度 (1992)	12,055	6,322	7,241	30,178	162,891	6,595	
平成5年度 (1993)	11,821	5,777	6,985	30,116	168,401	6,303	
平成6年度 (1994)	12,420	6,076	6,807	29,535	140,813	6,679	
平成7年度 (1995)	12,673	6,396	7,541	30,460	134,946	6,308	
平成8年度 (1996)	12,850	6,819	7,870	30,957	112,771	6,711	
平成9年度 (1997)	12,959	6,977	8,224	32,653	97,483	6,111	
平成10年度 (1998)	11,925	6,731	7,328	28,891	85,482	5,602	
平成11年度 (1999)	11,883	5,477	6,805	28,026	82,891	5,665	
平成12年度 (2000)	12,322	5,722	7,707	30,029	75,980	5,578	
平成13年度 (2001)	12,069	4,694	8,409	28,157	72,335	5,429	
平成14年度 (2002)	12,412	4,285	8,349	29,305	70,563	4,995	
統計名等	～H13鉄鋼統計年報 H14～鉄鋼・非鉄金 属・金属製品統計年報	～H13鉄鋼統計年報 H14～鉄鋼・非鉄金 属・金属製品統計年報	～H13鉄鋼統計年報 H14～鉄鋼・非鉄金 属・金属製品統計年報	～H13鉄鋼統計年報 H14～鉄鋼・非鉄金 属・金属製品統計年報	建設関連業等動態調 査(建設機械器具リ ース業等)、建設統計月 報	各メーカーによる概算 の合計出荷数量 (高速道路分は除く)	
備考	～S46は棒鋼計、S47～ H3は(小形鉄筋用丸棒+ 小形鉄筋用異形棒+小 形その他用棒鋼)を合 計、H4～は小型棒鋼計。		鋼材次工程用消費は 含まず。			H元～H8は塗装品の み、H9～は塗装、メ ッキ等合計数量。	